



「真・アヒルレース」の勝敗を見届ける来場者

たくさんの思い出をありがとう！

■シーサイドプール地頭方 閉所イベント

防潮堤建設予定地となり、施設の老朽化も著しいため本年度で営業終了するシーサイドプール地頭方の閉所イベントが、8月25日に行われました。市内外から訪れた多くの家族連れや若者らは、流れるプールやウォータースライダー、特別企画の「真・アヒルレース」や「アヒル探し」などで、最後のシーサイドプールを楽しみました。家族で訪れていた利用者は「自分たちが小さな頃から来ていた場所が無くなるのはとても寂しい。今までありがとう」と話してくれました。

地震と津波による災害に備えて

■総合防災訓練

防災意識や災害時の対応能力を高める総合防災訓練が8月26日、市内各地で実施されました。午前9時のサイレンとともに、市民らは一斉に避難場所へ避難を開始。その後は自主防災会などが中心になり、自助や共助を確認し、地域ごとの災害特性を踏まえた訓練が行われました。須々木区の訓練に参加した住民は、「実際、自宅から避難場所まで遠くて、行くのが大変。別の避難場所などもしっかりと把握する必要がある」と今後の課題について話しました。



避難場所の高台へ避難をする須々木区民

海岸美化や御前崎港発展などに貢献

■国土交通省中部地方整備局長表彰

国土交通省中部地方整備局長表彰を受賞した(株)東遠浄化槽管理センター東遠ビーチクリーン代表の山本昭夫さんと、前牧之原市長の西原茂樹さんが8月15日、市長を表敬訪問しました。山本さんは海岸清掃を90回以上行った功績が評価され、「海をきれいにするための一般協力者」として表彰されました。西原さんは県議会議員を務めた後、牧之原市長として12年にわたり、御前崎港の整備を促進した功績が評価され、「港湾振興発展」の部門で表彰されました。



杉本市長のもとを訪れた山本さん(右)と西原さん(左)



千手観世音菩薩立像を拝観する来場者

25年に1度の貴重な機会

■清水堂の秘仏「千手観世音菩薩立像」御開帳

清水堂(坂部区)の千手観世音菩薩立像が8月16日、25年ぶりに御開帳されました。この仏像は鎌倉時代の作と推定され、一説によると、奈良時代の名僧・行基が彫刻した3体の仏像の1つとも伝えられています。家内安全、招福開運、厄除けなど、さまざまなご利益があるとされる秘仏を一目見ようと、境内は多くの人でにぎわいました。拝観した人は「思っていたよりも大きくて立派だった」と、その迫力に圧倒された様子でした。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



水辺のカルタで、カードを目掛けて一斉に海に駆け出す子どもたち

もっと気軽に海と触れ合おう

■砂 ASO Beach in 牧之原

静岡県では初めての開催となる、公益財団法人B&G財団主催の「砂 ASO Beach in 牧之原」が8月14日、地頭方海浜公園横の砂浜で行われました。このイベントは、海に親しみながら、海の安全への理解を深めることを目的に開催されたもので、参加者は水辺のカルタや宝探し、バナナボート・カヌー、砂アート、大声選手権など、さまざまな体験で海を満喫。また、歌手で女優の酒井法子さんも「子ども健全育成大使」としてイベントを盛り上げました。川崎小学校3年の佐々木權里さんは「水辺のカルタや大声選手権で1位が取れたし、宝探しも楽しかった」と話してくれました。

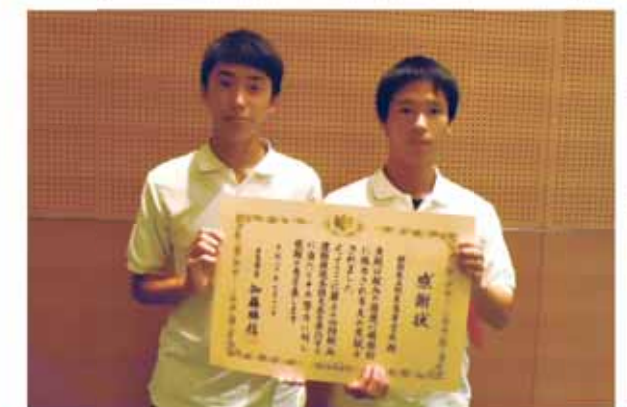
戦争を知らない世代に語り継ぐ

■平和の鐘を鳴らす集い

平和の鐘を鳴らす集いが8月15日、旧日本海軍の練習航空隊「大井海軍航空隊」の基地があった牧之原コミュニティセンターで開かれました。元隊員の八嶋良さんは「戦争は殺し合い。良い悪いという理屈ではなく、絶対にやってはいけない」と戦争を知らない世代に向けて語りました。その後、牧之原小学校6年の大澤実桜さんが平和宣言を行い、八嶋元隊員や杉本市長、地元の子どもたちなどが平和の鐘を鳴らして恒久平和を祈念しました。



平和の鐘を鳴らす八嶋元隊員(左)、大澤さん(中央)、杉本市長



感謝状を手にする相良高校3年の西谷嘉彦さん(左)と田崎さん(右)

皆さんも献血に協力をお願いします

■県献血推進大会で相良高校に厚生労働大臣感謝状

7月31日にグランシップ(静岡市)で開催された静岡県献血推進大会で、静岡県立相良高等学校が厚生労働大臣感謝状を受けました。相良高校は、10年以上にわたり献血推進に積極的に協力し、その実績が特に優秀で、他の模範となっていることが評価され、他の受賞者が企業や団体である中で唯一、学校として表彰されました。相良高校3年の田崎北斗さんは「残りの学校生活も、献血に対して積極的に活動していきたい」と決意を語ってくれました。